



2025年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年9月12日

上場会社名 くら寿司株式会社 上場取引所 東
コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）田中 邦彦
問合せ先責任者 （役職名）取締役広報宣伝・IR本部長 （氏名）岡本 浩之 TEL 072-493-6189
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第3四半期の連結業績（2024年11月1日～2025年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年10月期第3四半期	181,677	4.5	5,189	△18.4	5,571	△18.3	3,461	△22.1
2024年10月期第3四半期	173,893	12.1	6,362	—	6,817	—	4,441	—

（注）包括利益 2025年10月期第3四半期 3,057百万円（△52.1％） 2024年10月期第3四半期 6,380百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第3四半期	87.10	87.07
2024年10月期第3四半期	111.74	111.71

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年10月期第3四半期	153,404	84,961	40.4
2024年10月期	139,446	72,946	40.5

（参考）自己資本 2025年10月期第3四半期 62,024百万円 2024年10月期 56,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年10月期	—	0.00	—		
2025年10月期（予想）				20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年10月期 期末配当金40円00銭には、記念配当20円00銭が含まれております。

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	243,000	3.4	5,000	△12.3	5,200	△16.5	3,400	5.4	85.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年10月期 3 Q	41,399,600株	2024年10月期	41,399,600株
② 期末自己株式数	2025年10月期 3 Q	1,656,193株	2024年10月期	1,660,997株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年10月期 3 Q	39,742,411株	2024年10月期 3 Q	39,743,143株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年11月1日から2025年7月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境などの改善は見られるものの、世界的な情勢不安の継続や不安定な為替変動、米国における通商政策などの政策動向により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。外食産業全般におきましても、米をはじめとした原材料価格や人件費の上昇など、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、特許技術である抗菌寿司カバー「鮮度くん」を開発・設置しているだけでなく、お客様が入れ替わるごとに醤油差しなどの備品を入れ替えるクリーンテーブル、従業員の技術や接客等を競うコンテストを定期開催して「おもてなし力」を向上させ続けるなど、安心・安全で快適なお食事をしていただくためのさまざまな取り組みを行っております。

また、食べ終わったお寿司の皿5枚を各テーブルにある皿回収ポケットに入れるとゲームに挑戦でき、当たりが出ると景品がもらえる「ビックラポン!」は、当社を代表するシステムで、2000年の導入から今に至るまで多くのお客様にご好評をいただいております。さらに、大手回転寿司チェーンの中で唯一、回転レーンでお寿司を提供しているだけでなく、業界初となる日頃の感謝を伝えるサプライズサービス「プレゼントシステム」を開始するなど、エンターテインメント性を常に進化させ続けており、楽しい食体験も追求しております。

店舗開発につきましては、国内7店舗、米国12店舗、アジア1店舗の計20店舗を出店いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で687店舗(「無添蔵」5店舗、「くらおさかな市場」1店舗、米国76店舗、アジア61店舗を含む)となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

① 日本

日本国内におきましては、都心部を中心にインバウンド需要が拡大する一方で、実質賃金は2022年以降一貫して減少傾向にあり、特に地方においてはその傾向が強くなっております。そのような中、米をはじめとした原材料価格や人件費の上昇はあるものの、とろける味わいを楽しめる「極上とろ」、本ズワイガニや丸ズワイガニの盛り合わせなどカニ尽くしの「極上かに」など、魅力的で質の高い商品を中心にフェアを展開いたしました。また、人気VTuberグループ「にじさんじ」や大人から子どもまで幅広い世代で人気のキャラクター「ちいかわ」とのコラボキャンペーンを実施いたしました。特に「ちいかわ」とのコラボは社会現象といえるほど大変話題となり、たくさんのお客様にご来店いただきました。

4月13日に開幕した大阪・関西万博の会場内に、当社史上最大規模の店舗「大阪・関西万博店」をオープンしております。通常の寿司メニューに加え、70の国・地域を代表する料理を再現したメニューを提供しており、世界各国の多くのお客様で賑わっております。併せて、70種類の再現メニューとお寿司を特別仕様の抗菌寿司カバーに入れて回転ベルトで流す「ハンズ・ハンズPROJECT」の一環として、全国のくら寿司各店でも70種類の再現メニューを1商品ずつ販売しており、万博の盛り上がり年全国のくら寿司店舗にも広げております。

5月29日にプレミアム回転寿司「無添蔵 中目黒店」をオープンいたしました。これまで関西エリアに4店舗のみ展開してきたくら寿司の上位ブランド「無添蔵」をリブランディングし、関東エリアへは初出店となりました。手間暇かけた上質なネタを取りそろえており、連日たくさんのお客様にご来店いただいております。今後、都市部を中心に出店を進めてまいります。

当社は財務戦略を重視し、さまざまな事業リスクに対応してまいりました。当社におきましては、前事業年度に引き続き実質無借金にて運営しており、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は66.5%と財務の健全性を維持しております。

この結果、売上高1,324億90百万円(前年同期比1.8%増)、経常利益57億35百万円(前年同期比18.4%減)となりました。

② 北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、積極的な新規出店を継続していることやPEANUTSなど人気キャラクターとのコラボ企画の展開により売上高は順調に推移し、利益面では当第3四半期連結会計期間の3ヶ月で経常黒字となりました。出店につきましては、アリゾナ州「ノーススコッツデール店」、ワシントン州「リンウッド店」、テキサス州「マッキニー店」などを新規出店いたしました。また、新予約システムを導入し利便性の向上にも努めました。

この結果、売上高304億48百万円(前年同期比18.4%増)、経常損失5億96百万円(前年同期は経常損失5億17百万円)となりました。

③ アジア

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司 (KSA) におきましては、日本でも人気の「SPY×FAMILY」や「サンリオ」とのコラボ企画を積極的に展開し、大変ご好評いただきました。また、こどもの日や母の日に合わせたフェアや厳選北海道産のフェアを積極的に展開するなど販売促進の強化に努めました。出店につきましては、2024年11月新北市に「板橋遠路店」を新規出店しております。

この結果、売上高189億73百万円(前年同期比4.2%増)、経常利益は5億58百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,816億77百万円(前年同期比4.5%増)、経常利益55

億71百万円（前年同期比18.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億61百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、1,534億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して139億58百万円増加いたしました。これは、主に売掛金が25億27百万円、有形固定資産が54億94百万円、投資有価証券が46億80百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して19億43百万円増加し、684億43百万円となりました。これは、主に固定負債のリース債務が25億18百万円増加した一方で、未払法人税等が9億51百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、連結子会社の増資等に伴い、資本剰余金が35億88百万円、非支配株主持分が59億56百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して120億14百万円増加し、849億61百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月11日に公表いたしました業績予想につきまして、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,043	22,591
売掛金	5,672	8,200
有価証券	-	1,923
原材料及び貯蔵品	3,016	2,760
その他	2,574	2,657
流動資産合計	34,307	38,133
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	38,004	40,419
使用権資産（純額）	28,759	31,654
その他（純額）	22,606	22,791
有形固定資産合計	89,370	94,865
無形固定資産	1,573	1,729
投資その他の資産		
投資有価証券	-	4,680
長期貸付金	5,103	4,789
差入保証金	7,302	7,535
その他	1,789	1,669
投資その他の資産合計	14,195	18,676
固定資産合計	105,139	115,270
資産合計	139,446	153,404
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,150	9,084
短期借入金	1,130	1,193
未払金	9,268	9,906
未払法人税等	1,949	998
その他	10,478	9,306
流動負債合計	30,978	30,488
固定負債		
リース債務	31,338	33,856
資産除去債務	3,218	3,357
その他	965	740
固定負債合計	35,521	37,954
負債合計	66,499	68,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	10,900	14,489
利益剰余金	42,726	44,598
自己株式	△2,003	△1,996
株主資本合計	53,628	59,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△0
為替換算調整勘定	2,795	2,927
その他の包括利益累計額合計	2,795	2,927
新株予約権	1,932	2,391
非支配株主持分	14,589	20,545
純資産合計	72,946	84,961
負債純資産合計	139,446	153,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
売上高	173,893	181,677
売上原価	70,861	74,059
売上総利益	103,031	107,617
販売費及び一般管理費	96,668	102,428
営業利益	6,362	5,189
営業外収益		
受取利息	415	425
受取手数料	135	121
為替差益	81	-
雑収入	127	161
営業外収益合計	760	708
営業外費用		
支払利息	274	284
為替差損	-	20
雑損失	31	21
営業外費用合計	305	326
経常利益	6,817	5,571
特別損失		
固定資産除却損	51	77
店舗契約解約損	23	122
減損損失	3	259
特別損失合計	78	460
税金等調整前四半期純利益	6,738	5,111
法人税、住民税及び事業税	2,417	1,805
法人税等調整額	32	140
法人税等合計	2,450	1,946
四半期純利益	4,288	3,165
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△152	△296
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,441	3,461

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
四半期純利益	4,288	3,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△1
為替換算調整勘定	2,098	△106
その他の包括利益合計	2,092	△107
四半期包括利益	6,380	3,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,505	3,593
非支配株主に係る四半期包括利益	875	△535

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	7,261百万円	7,360百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年11月1日 至 2024年7月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	129,960	25,718	18,213	173,893	—	173,893
外部顧客への売上高	129,960	25,718	18,213	173,893	—	173,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	221	—	—	221	△221	—
計	130,181	25,718	18,213	174,114	△221	173,893
セグメント利益又は 損失（△）	7,025	△517	528	7,036	△219	6,817

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年11月1日 至 2025年7月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	132,254	30,448	18,973	181,677	—	181,677
外部顧客への売上高	132,254	30,448	18,973	181,677	—	181,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	235	—	—	235	△235	—
計	132,490	30,448	18,973	181,913	△235	181,677
セグメント利益又は 損失（△）	5,735	△596	558	5,696	△125	5,571

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。